

審 議 事 項

件名・議案		提案者	資料 (頁)	提案理由等 (※シンポジウム等、後援関係につ いては概要を記載)	説明者
I 審議事項					
1. 規則関係					
提案1	「委員会の分科会等の設置提案をする際に用いる付属様式等について」の一部を次のように改正すること	会長	別添 1 (1)	分科会の設置様式につき整理する必要があるため。	会長
提案2	「部が直接統括する分野別委員会合同分科会について」の一部を次のように改正すること	会長	別添 1 (2-3)	部が直接統括する分科会の設置様式につき整理し、より柔軟に会議運営を行う必要があるため。	会長
提案3	「日本学術会議アドバイザー等について」の一部を次のように改正すること	会長	別添 1 (4-9)	日本学術会議アドバイザーにつき整理し、より柔軟に運営する必要があるため。	会長
提案4	「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」の一部を改正すること	国際委員会委員長	別添 1 (10)	「日本学術会議アドバイザー等について」の一部改正により、代表派遣の派遣者の選考について規定の改正を行う必要があるため。 ※国際委員会2月16日承認	花木副会長
2. 委員会関係					
提案5	(分野別委員会) (1) 運営要綱の一部改正 (新規設置1件) (2) 委員会、分科会及び小委員会委員の決定 (新規1件)	(1) 基礎生物学委員会委員長、統合生物学委員会委員長 (2) 各部署長	別添 1 (11-13)	小委員会の設置等に伴い、運営要綱の一部を改正すると共に、分野別委員会における委員等を決定する必要があるため。	会長 各部署長

3. 提言等関係

提案6	提言「人口減少時代を迎えた日本における持続可能で体系的な地方創生のために」について日本学術会議会則第2条第3号の「提言」として取り扱うこと	地域研究委員会委員長	別添2-1 別添2-2	地域研究委員会人文・経済地理学分科会において、提言を取りまとめたので、関係機関等に対する提言として、これを外部に公表したいため。 ※第一部査読	人文・経済地理学分科会/ 石川義孝委員長、 松原宏幹事
提案7	提言「学術の総合的發展をめざして—人文・社会科学からの提言—」について日本学術会議会則第2条第3号の「提言」として取り扱うこと	第一部部長	別添3-1 別添3-2	第一部人文・社会科学の役割とその振興に関する分科会において、提言を取りまとめたので、関係機関等に対する提言として、これを外部に公表したいため。 ※第一部査読	人文・社会科学の役割とその振興に関する分科会/ 佐藤学委員長、 三成美保幹事

4. 協力学術研究団体関係

提案8	日本学術会議協力学術研究団体を指定すること	会長	別添1 (14)	日本学術会議協力学術研究団体への新規申込のあった下記団体について、科学者委員会の意見に基づき、指定することとしたい。 ①多国籍企業学会 ②日本「アジア英語」学会 ③日本ユング心理学会 ※平成29年2月24日現在2,013団体 (上記申請団体を含む)	向井副会長
-----	-----------------------	----	-------------	---	-------

5. 地区会議関係

提案9	地区会議運営協議会委員の追加について決定すること	科学者委員会委員長	別添1 (15)	九州・沖縄地区会議運営協議会において、一身上の都合による辞職で委員に欠員が生じたことに伴い、新たに委員を決定する必要があるため。	向井副会長
-----	--------------------------	-----------	-------------	--	-------

6. 国際関係

提案10	平成29年度代表派遣について (1)代表派遣実施計画の決定 (2)実施計画に基づく4-6月期の会議派遣者の決定	会長	別添1 (16-19)	平成29年度代表派遣について、代表派遣実施計画の決定をするとともに、実施計画に基づき4-6月期の会議派遣者を決定する必要があるため。	花木副会長
------	---	----	----------------	--	-------

提案11	平成28年度代表派遣について、実施計画の一部を変更すること	会長	-	Gサイエンス学術会議2017会合へ花木啓祐日本学術会議副会長を派遣することについて、用務追加（G20学術会議共同声明手交式出席）により以下のように変更する。 （変更前） ・派遣期間：3月23日～3月25日 ・派遣先：ローマ（イタリア） ↓ （変更後） ・派遣期間：3月21日～3月25日 ・派遣場所：ハレ（ドイツ）、ローマ（イタリア） ※実施計画については第225回幹事会、派遣者については第238回幹事会にて、それぞれ決定。	花木副会長
提案12	「フューチャー・アース評議会、関与委員会、科学委員会合同会合」に会員を派遣すること	フューチャー・アースの推進に関する委員会委員長	-	「フューチャー・アース評議会、関与委員会、科学委員会合同会合」に連携会員を派遣したいため。 ・派遣者：春日 文子（連携会員、FE国際本部事務局日本ハブ事務局長） ・用務期間：平成29年3月18日～24日 ・派遣場所：モントリオール（カナダ） ※フューチャー・アースの推進に関する委員会フューチャー・アースの国際的展開対応分科会2月23日承認 （招へいを含む出張案件に関しては、分科会決議を委員会の議決とする旨決定済）	花木副会長
提案13	日韓アカデミー若手科学者会合へ若手アカデミー会議委員を派遣すること	会長	-	日韓アカデミー若手科学者会合へ、連携会員を派遣することとしたため。 ・派遣者：狩野光伸（特任連携会委員）、北村友人（連携会員）、新福洋子（特任連携会員）、住井英二郎（連携会員）、高瀬堅吉（特任連携会員） ・用務期間：平成29年3月15日（水）～3月16日（木） ・開催場所：城南市（韓国） ※代表派遣の追加	花木副会長

提案14	ラオス、ブルネイの学術機関等との会合へ会員を派遣すること	国際委員会委員長	-	ラオス、ブルネイの学術機関等との会合へ会員を派遣したいため。 ・派遣者：吉野 博（第3部会員、SCA事務局長） ・用務期間：平成29年3月25日（土）～3月30日（木）のうちの各1日 ・派遣場所：ビエンチャン（ラオス）、バンドルスリブガワン（ブルネイ・ダルサラーム） ※国際委員会2月16日承認、同アジア学術会議等分科会2月16日承認	花木副会長
提案15	平成30年度共同主催国際会議候補の追加について	会長	別添1 (20-21)	平成30年度共同主催国際会議について、国際委員会国際会議主催等検討分科会の審議に基づき、昨年度保留とした会議の中から、以下の1件を追加の候補として決定したい。 ・2018年米国電気電子学会（IEEE）システム、人そしてサイバネティクスに関する国際会議 ※既に候補として決定した7件とともに閣議口頭了解（平成29年6月頃予定）をもって正式決定 ※国際委員会2月16日承認、同国際会議主催等検討分科会1月17日決定	花木副会長
提案16	平成31年度共同主催国際会議候補の決定及び保留について	会長	別添1 (22-23)	共同主催の申請があった平成31年度開催国際会議について、国際委員会国際会議主催等検討分科会の審議に基づき、以下の5件を候補として決定したいため。 ・米国電気電子学会（IEEE）回路とシステム国際シンポジウム 2019 ・第29回国際地図学会議 ・地球科学・リモートセンシング国際シンポジウム 2019 ・第25回ICOM（国際博物館会議）京都大会 ・国際義肢装具協会世界大会2019 また、上記とは別に1件を、今後に決定を保留する会議としたい。 ※国際委員会2月16日決定、同国際会議主催等検討分科会1月17日決定	花木副会長

提案17	平成29年度アジア 学術会議関連出張 計画について	会長	別添 1 (24)	アジア学術会議関連の海外出張に ついて、平成29年度の計画を決定し たいため。 ※国際委員会2月16日決定	花木副会 長
------	---------------------------------	----	--------------	---	-----------

7. シンポジウム等

提案18	公開シンポジウム 「歴史学の担い手 をいかに育て支え るか」	史学委員 会委員長	別添 4 (1)	主催：日本学術会議史学委員会、同 国際歴史学会議等分科会 日時：平成29年3月4日（土） 13:00～00:00 場所：駒澤大学駒沢キャンパス1号館 204教場 ※第一部承認	—
提案19	公開シンポジウム 「東日本大震災に 係る食料問題 フォーラム2017－ 環境汚染と内部被 曝問題－」	農学委員 会委員 長、食料 科学委員 会委員 長、健 康・生活 科学委員 会委員 長、臨 床医学 委員会 委員長	別添 4 (2-3)	主催：日本学術会議農学委員会・食 料科学委員会・健康・生活科学委員 会合同東日本大震災に係る食料問題 分科会、農学委員会農業経済学分科 会、農学委員会・食料科学委員会合 同農芸化学分科会、農業情報システ ム学分科会、食料科学委員会水産学 分科会、畜産学分科会、食の安全分 科会、臨床医学委員会放射線防護・ リスクマネジメント分科会 日時：平成29年5月13日（土） 13:00～17:00 場所：長崎大学ポンペ会館 ※第二部承認	—
提案20	公開シンポジウム 「地質地盤情報の 共有化を目指して－ 安全安心で豊かな 社会の構築に向け て－」	土木工 学・建築 学委員会 委員長	別添 4 (4-5)	主催：日本学術会議土木工学・建築 学委員会インフラ健全化システム分 科会 日時：平成29年4月27日（木） 13:30～17:40 場所：日本学術会議講堂 ※第三部承認	—
提案21	公開シンポジウム 「看護学分野別質 保証のための教育 課程編成上の参照 基準」	健康・生 活科学委 員会委員 長	別添 4 (6)	主催：日本学術会議健康・生活科学 委員会看護学分科会 日時：平成29年3月26日（日） 10:00～12:00 場所：聖路加国際大学アリス・C・セ ントジョンメモリアルホール ※第二部承認	—
提案22	公開討論会「安全 保障と学術の問題 に看護はどう取り 組むか」	健康・生 活科学委 員会委員 長	別添 4 (7)	主催：日本学術会議健康・生活科学 委員会看護学分科会 日時：平成29年3月26日（日） 13:00～15:00 場所：聖路加国際大学アリス・C・セ ントジョンメモリアルホール ※第二部承認	—

8. 後援

提案23	国内会議の後援を すること	会長	-	以下の会議について、後援の申請があり、関係する委員会に審議付託したところ、適当である旨の回答があったので、後援することとした。 ①ニホニウム命名式典 主催：国立研究開発法人理化学研究所 期間：平成29年3月14日（火） 場所：日本学士院講堂（東京都台東区） 参加予定者数：約160名 申請者：国立研究開発法人理化学研究所理事長 松本紘 ※第三部承認 ②構造工学フロンティア国際会議 (SEFC2017) 主催：東京工業大学科学技術創成研究院 期間：平成29年3月17（金） 場所：東京工業大学（東京都目黒区） 参加予定者数：約250名 申請者：構造工学フロンティア国際会議 (SEFC2017) 運営委員会委員長、東京工業大学科学技術創成研究院教授 笠井和彦 ※第三部承認	会長
------	------------------	----	---	---	----

Ⅱ その他

	件名	資料
1.	「安全保障と学術に関する検討委員会」の審議経過の報告	参考 1
2.	今後の幹事会開催予定 次回は 3 月 24 日（金）13 時 30 分開催	参考 2